

交流センター・阿久比スポーツ村の有効活用



自然環境を守りながら順次整備を進める

問 交流センターは障がいをお持ちの方、身体を動かす事が苦手な方等すべての町民が集い、交流できる憩いの場所となるような施設にする予定かどうか。

答 町長 交流センターは、障がいをお持ちの方、身体を動かす事が苦手な方等すべての町民が集い、交流できる憩いの場所となるような施設にする予定だということ。

問 陸上競技場内でサッカー競技は開催されているが、フットサル競技での利用は可能か。

答 教 面積的には可能だが、専用ゴールは備えていない。

問 町民が気軽にスポーツを楽しめる事を考えると、予約なしで使える事は重要な要素だ。ストリートバスケットのよう、1人からでも楽しめるような施設整備はどうか。

答 教 会場の陸上競技場は、ほぼ毎日利用があるため、回数増は考えていない。

問 交流センターでの一般開放を含め、気軽に楽しめる種目や、場所を検討する。

答 町長 移動手段は、自転車、自家用車、タクシー、アグピー号のオンラインの利用を考えている。

問 交流センターが避難所に指定された。クラブハウス内にある事務室を交流センターに移転させ、同トレーニンング室も移転させたほうが利用しやすいのではないかと検討している。

答 町長 移転の検討は他の部屋の利用予定なども考慮し、移転時期を見定めたい。

問 交流センター、スポーツ村の利用促進は移動手段も重要。現在アグピー号の一部がスポーツ村を経由しているが、利便性が高いとは言えない。どのような対策を考えているのか。

答 町長 移動手段は、自転車、自家用車、タクシー、アグピー号のオンラインの利用を考えている。

問 交流センターは、障がいをお持ちの方、身体を動かすのが苦手な方、子育て中の方等すべての町民を利用対象にしている。

答 町長 特に意識して対策を練っているのはどのような事か。

答 町長 スポーツ面のほか、文化面、高齢者の健康づくりなど多目的に利用いただけるよう、また、防災の拠点となる避難所としての有効活用など、多目的な活用の検討を進める。

問 交流センターを契機に、スポーツ村を整備し利用促進を促すことは、両施設にとって非常に有益だと考えるがどうか。



竹内 卓美 議員
(済和会)



阿久比スポーツ村全景